

釜田貝塚

時代：縄文

所在地：愛知県西尾市上羽角町釜田4-3

緯度経度：34.884639、137.130361

遺構概要：貝塚、〈現況〉宅地

遺物概要：縄文土器、石器

最明寺山（羽角山）には貝塚や古墳が多数存在しており、このことは、縄文時代や古墳時代にこの地域に多くの人々が生活をし、周辺に文化が存在していたことを示している。西尾市の時代的に最も古い遺跡は「釜田貝塚」で、今から6000年前、つまり縄文時代前期のものである。上羽角町釜田の標高100mの位置で長さ15m、厚さ50cmにおよぶ貝層が発見された。これが釜田貝塚である。

これは、明らかな集落地であり、この辺では最も早く人が住み始めたと考えられる。貝類は、河口近くでとれるハマグリやサルボウ、カキなどがある。貝が多く堆積していることから、六ツ美南部の低地部分は海であったと考えられる。これは、当時の気温が現在より、2℃ほど高く大陸氷河が縮小したためと考えられている。



釜田貝塚(金子邸)1



釜田貝塚(金子邸)2

出土遺物は縄文式土器の他に石錘（せきすい：漁網に吊るすおもり）、石斧、石鏃（せきぞく：石の矢じり）等が多数出土している。石鏃の収集範囲は釜田から丘陵つづきに上羽角町、下羽角町、貝吹町まで及んでいる。釜田貝塚の場所は上羽角町釜田、通称向山（むけやま）丘陵の北西麓、金子忠雄家の屋敷地内。現在はコンクリート壁に覆われ貝塚は見る事が出来ない。同時代の遺物は八ツ面山南麓の新御堂貝塚からも出ている



本項は以下の資料から引用した。

[六ツ美南部の歴史・文化を紐解く]

著者 岡崎市立六ツ美南部小学校 高須 亮平

発行日 2012（平成24）年3月31日 初版発行

印刷所 ブラザー印刷株式会社

[西尾市史（自然環境・原始古代）1]

編集者：西尾市史編纂委員会

発行者：西尾市

発行日：1973（昭和48）年

[西尾市ホームページ]

<http://www.city.nishio.aichi.jp>

[YAHOOブログ]

<http://blogs.yahoo.co.jp/yasu1832000/14639548.html>

[「遺跡ウォーカーβ」ホームページ]

<http://www.isekiwalker.com>